

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第3区分

【発行日】平成22年11月4日(2010.11.4)

【公開番号】特開2009-144971(P2009-144971A)

【公開日】平成21年7月2日(2009.7.2)

【年通号数】公開・登録公報2009-026

【出願番号】特願2007-322068(P2007-322068)

【国際特許分類】

F 25 C 1/22 (2006.01)

F 25 C 1/04 (2006.01)

【F I】

F 25 C 1/22 303B

F 25 C 1/04 301B

F 25 C 1/04 302Z

【手続補正書】

【提出日】平成22年9月16日(2010.9.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

製氷皿(1)と、給水ユニット(2)と、その給水ユニット(2)の開放位置と閉塞位置を検出する電子センサ(11a、11b)と、給水ユニット(2)の動作を制御する制御基板(8)とを備えたセル型製氷機において、

上記制御基板(8)に、又は、上記制御基板(8)に近接して設けた上記電子センサ(11a、11b)と、上記給水ユニット(2)との間に、上記給水ユニット(2)から上記電子センサ(11a、11b)及び上記制御基板(8)に向けて水が飛散するのを防止する遮蔽体(6)として、上記給水ユニット(2)を開閉させるギアを収納したギアボックス(6)を設けたことを特徴とする製氷機。

【請求項2】

上記電子センサ(11a、11b)が、上記給水ユニット(2)の開放位置と閉塞位置の両位置に対応して設けられた磁気センサ(11a、11b)と、上記給水ユニット(2)とともに揺動しつつ、上記両位置で上記磁気センサ(11a、11b)と対向するよう配置された磁石(10)とから構成されることを特徴とする請求項1に記載の製氷機。

【請求項3】

上記電子センサ(11a、11b)を水濡れ防止用のカバー(13)で覆ったことを特徴とする請求項1又は2に記載の製氷機。